



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088(655)4105
fax. 088(655)4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

vol. 新年号

当面の日程

○連合徳島2025新年旗開き
日時：1月7日(火) 18:00~
場所：徳島グランヴィリオホテル

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 川口 誠二



2025年 新年のご挨拶

「最低賃金1,000円にむけて」

日本労働組合総連合会 徳島県連合会
会長 島 和久



新年あけましておめでとうございます。旧年中は連合徳島の運動に対しまして格別のご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。とりわけ、2024年10月27日施行の第50回衆議院議員選挙では、多方面から格別のご協力をいただき、比例四国ブロックから高橋永衆議院議員を誕生させることができ、連合のめざす緊張感のある二大政党制へと前進することができました。人口減少・労働力不足をはじめ徳島県の抱える課題を国政に届けていただき、徳島で頑張る労働者・生活者の福祉の向上をめざしていきたいと思っております。

さて、2024年11月1日、徳島県の最低賃金が、時間給で84円引き上げられ、980円となりこの水準は、四国で最も高く全国順位は27位と大きく改善しました。2024年1月に開催しました「地方版政労使会議」をきっかけに、労働局・徳島県・経済界・労働界などが一体となって、最低賃金の引き上げにむけ知恵をしぼり、50円という目安額を大きく上回る金額で解決したものであります。中小企業で働く人、パート・有期・派遣契約で働く人、フリーランス、「曖昧な雇用」で働く人、そして女性、外国人など、多くの働く仲間の生活に大きな影響を与えている物価上昇は高止まりを続けており、さらなる格差と貧困の広がりが懸念されている中で、今回の最低賃金の引き上げが、日々の生活の向上に少なからず役立てるのではないかと考えています。また、未来の徳島を魅力ある地域にしていくために英断をいただきました経済界の方々から敬意を表するものでありますし、連合のめざす「誰もが1,000円」にむけて、ともに労使がパートナーであることを意識し連携していけるようご理解とご協力をお願いする次第です。

引き続き緊迫化する国際情勢は、あらゆる物資を輸入に依存する日本の経済や私たちの生活に大きく影響し、気候変動と相まって前述の物価上昇に追い打ちをかけています。今こそ、「持続可能性」と「包摂」を基底に置いた「連合ビジョン」に掲げる「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」が持つ意義を改めて確認し、その実現に向けて私たち連合は組織内外へ広がりのある運動を展開していきます。そのうえで、この国で働き暮らす、すべての人々に連合の取り組みを分かりやすく伝えることで、連合の社会的役割に理解と共感を得ていくことが重要だと考えます。



謹賀新年



日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

今年には戦後80年です。先の大戦を経験された方々は少なくなり、その実相を伝える役割は次の世代へと移ります。私たちが果たすべき役割をいま一度見つめなおし、行動に結びつける1年にしましょう。

近年の賃上げの成果により、「賃金は上がる」という新たな社会的規範ができてつつあります。動き始めた賃金や物価を「巡航軌道」に乗せ、再び停滞させることのないように、2025春季生活闘争を精一杯、取り組んで参ります。

また、連合ジェンダー平等推進計画はフェーズ2に移行しました。世界は男女同率での活動への参画が当たり前になっています。“203050”の目標達成に向けて、残り5年しかないという危機感を持ち、力を尽くして参ります。

労働組合の組織率の低下に対し、連合運動はその活動領域の幅を広げていくことが必要です。多様な方々や団体と積極的に対話と連帯を進めて、労働組合の価値を高め、多くの仲間が集い、互いに協力し、より良い職場や社会をつくることに努力する1年にして参りましょう。

本年も皆さまにとって実り多い1年となりますことを祈念いたします。